

# 観光・交流拠点となる特色ある都市公園の整備推進

【提案先】財務省・国土交通省

## 1. 世界に誇れる奈良公園

東大寺や春日大社、興福寺、春日山原始林といった世界遺産の登録遺産を内包あるいは隣接している奈良公園は、わが国を代表する観光名所である。観光立国、観光立県をめざすため当公園を国内のみならず世界各国からの旅行者の観光・交流拠点となる都市公園として整備推進。

## 2. 全国都市緑化ならフェア会場 馬見丘陵公園 うまみきゅうりょうこうえん

3、4世紀頃に築造されたとされる馬見古墳群の一部を成す国史跡「ナガレ山古墳」や国史跡「乙女山古墳」等を内包し、国特別史跡「巢山古墳」に隣接する馬見丘陵公園において、丘陵地に残された自然環境とこれらの歴史的遺産を活用した広域レクリエーションの場を創出し、平城遷都1300年祭の一環として全国都市緑化ならフェア会場として都市公園づくりの推進。

## 3. 歴史展示のための飛鳥京跡苑池 あすかきょうあとえんち

「日本人の心のふるさと」と称される明日香村では、古都保存法に基づき開発規制がなされるなど、その歴史的風致を活かしたまちづくり、観光振興が図られているなか、第4次明日香村整備計画に基づき国史跡「飛鳥京跡苑池」の復原整備・公園化を進めるための新たな調査支援。

公園名(箇所名)	H21事業費(百万円)	事業箇所	必要性
① 奈良公園	200	奈良市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太政官布達により明治13年(1880年)2月14日開園</li> <li>・交通対策など未解決の問題、公園施設の新たな魅力向上のための早急の対策の必要性</li> <li>・奈良公園が有する歴史的・文化的及び自然的価値等を高いものに保ち、後世に継承するとともに、広く県民等の憩いの場としての都市公園の整備の推進</li> </ul>
② 馬見丘陵公園	480	広陵町 河合町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和59年「歴史と自然に囲まれた憩いの空間」とし事業着手</li> <li>・公園内及び隣接して3基の国史跡古墳を含む8古墳</li> <li>・平成19年現在、47.1haを開園(全体65.3ha)</li> <li>・平成22年度全国都市緑化ならフェア開催</li> <li>・平成25年度完成供用を目指す。</li> </ul>

箇所図

